

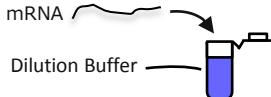
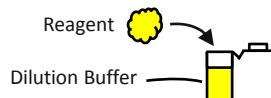
# ScreenFect™mRNA トランスフェクションプロトコール

細胞によってmRNAとトランスフェクション試薬の最適な混合比が異なります。数パターンの混合比を検討のうえ、最適な混合比の検証を推奨いたします。

## 1-Step法 (リバーストランスフェクション法)

時間

1



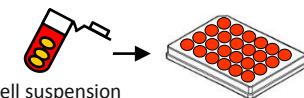
2



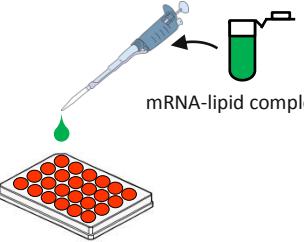
Day 0



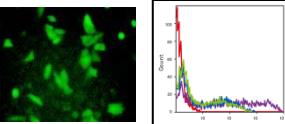
4



5



6



実験工程

Dilution BufferにScreenFect™mRNA Reagent<sup>※1</sup>を添加する。  
十分に混合する。  
※1 添加前にボルテックスミキサーで十分混合する。

Dilution BufferにmRNAを添加する。  
十分に混合する。

希釈済みScreenFect™mRNA Reagent と希釈済みmRNA溶液を混合する。  
5分間以上室温でインキュベートする。  
※③以下の細胞懸濁液の調製とウェルプレートへの播きこみが完了するまでインキュベート可

トランスフェクションに必要な細胞を用意する。

トリプシンやAccutase®をもちいて細胞を剥離し、細胞懸濁液を調製する。  
ウェルプレートや培養シャーレに必要細胞数播く。

工程2で調製したmRNA-lipid complexを上記工程で細胞懸濁液を添加した培養プレートに添加する。

蛍光観察、フローサイトメトリーなど各種手法によりトランスフェクション細胞を解析する。

## 2-Step法 (フォワードトランスフェクション法)

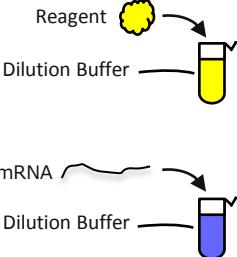
時間

1 Day 0



Pre-Cultured cells

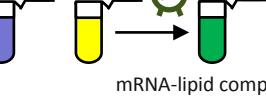
2



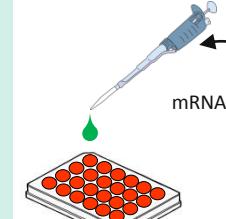
mRNA

Dilution Buffer

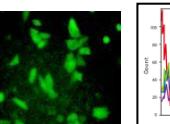
3 Day 1



4



5 Day 2~



実験工程

トランスフェクション前に、細胞を70-90 % コンフルエントまで培養する。

Dilution BufferにScreenFect™mRNA Reagent<sup>※1</sup>を添加する。  
十分に混合する。  
※1 添加前にボルテックスミキサーで十分混合する。

Dilution BufferにmRNAを添加する。  
十分に混合する。

希釈済みScreenFect™mRNA Reagent と希釈済みmRNA溶液を混合する。  
5分間以上室温でインキュベート<sup>※2</sup>する。  
※2 推奨時間：15~20分

mRNA-lipid complexを前培養細胞のウェルに添加する。

蛍光観察、フローサイトメトリーなど各種手法によりトランスフェクション細胞を解析する。